

10/7 実施

企 業：株式会社新晃社

テーマ：広色域の印刷表現と立体的質感を表現する「印刷技術」

Q：UV シルクでの水滴加工について、色付きの水滴表現は可能ですか？

A：広色域での印刷をした上に印刷で水滴表現をしたいという場合、UV シルク印刷では、色のついた印刷は可能ですが、水滴のような、透けたような色づけの透明表現はできません。ラメを入れたりではできますが、下の印刷のデザインで表現することになると思います。

Q：UV 印刷以外に出来る特殊印刷・加工についておしえてください。

A：抗菌加工と PP 加工があります。抗菌加工とは、菌を付けにくくする加工で抗菌ニスというニスをワンパスで印刷加工することが可能です。加工としても人気があります。抗菌ニスの加工は、通常の UV 印刷の工程で実現可能です。PP 加工ではしっとりとした質感のベルベット PP、手触り感のあるものや和紙 PP の加工が可能です。

Q：段ボールに印刷することは可能ですか？

A：自社設備で段ボール専用の印刷機は持っていませんが、印刷した紙を段ボールやスチレンに貼合することは可能です。印刷機に通す紙の厚さは 0.5 ミリまで対応可能です。

Q：特殊印刷によるレンガのような質感、タイルやアルミ、ファーなどのリアルな素材感を印刷表現可能ですか？

A：シルク印刷と疑似エンボス表現の掛け合わせで加工した例はあります。実際のデータを見て校正をとり、試作しながらの対応となります。

Q：印刷表現の 1 枚当たりの単価は？

A：大きな紙の中に何面付できるかで変わってきます。サイズは B2 が最大です。

Q：テーマ企業同士の加工連携は可能ですか？

A：TBDA 事業内では不可ですが、希望の加工を自社の仲間企業と連携することにより、実現は可能かもしれません、ご相談下さい。

Q：印刷の厚さをインクで盛っていった場合、何ミリくらいまで厚みを持たせることができますか？

A：疑似エンボスに関しては盛った感じにはなりません。シルク印刷では 0.5 から 1.0 ミリ（指で触った時に段差がわかるくらい）、段差は最高値で 1 ミリほどです。

Q：販路について、他の事業者さんとの連携をビジネスモデルの企画として提案可能ですか？

A：是非前向きに検討します、ご提案下さい。（※TBDA 事業の規定内による）

Q：シルク印刷や疑似エンボスで絵を描いたような表面加工は可能ですか？

A：可能です。ズバリの加工はないので一緒に作っていくというかたちになります（版の作り方などに工夫が必要になるので、要相談）。筆で書いたような色が抜ける、透けるような表現加工は疑似エンボスで可能で、過去に事例としてやったことがあります。

Q：立体表現をしたい場合に、組み立てる前の台紙に印刷することは可能でしょうか？

A：型抜き加工機もあるので対応可能です。印刷後に抜き加工し、立体に仕上げることができます。